

# 国立研究開発法人の中長期目標の策定及び評価に関する指針のポイント(案)

## 全体事項

- 目標の策定及び評価の第一目的は、「研究開発成果の最大化」(国立研究開発法人の第一目的)。
- 「研究開発の特性(長期性,不確実性,予見不可能性,専門性)」等を踏まえた適切な目標の策定及び評価。
- 科学技術イノベーション政策等の国の諸政策と整合性を確保。
- 「国の研究開発評価に関する大綱的指針」等を踏まえた「研究開発評価」と整合性を確保。

## 目標の策定

- 「研究開発成果の最大化」に向けて、課題の解決などのアウトカム創出への貢献を目指す目標等を策定。
- 「主務省」、「国立研究開発法人」、「研究開発に関する審議会」が、三位一体となってしっかりと練り上げた目標・計画を策定。
- 目標・計画の策定時に、主務大臣は、国立研究開発法人、研究開発に関する審議会とともに、適切な評価軸を設定。
- 目標は、「研究開発成果の最大化」の目的等に照らし、諸事情の変化等があった場合には迅速かつ柔軟に見直す。

## 評価

- 評価の重点は、法人としての「研究開発成果の最大化」、「適正、効果的かつ効率的な業務運営」。
- 目標策定時に設定した評価軸を基本として、長のマネジメントの在り方も含め、社会経済的、国際的、中長期的な観点等も踏まえ総合的に評価。
- 研究開発の特性・多様性等を踏まえ、国際的な水準を踏まえて専門的に評価する手法、将来性について先を見通して評価する手法等、最も相応しい評価手法を適切に選択。
- 次につながる(フィードフォワード)評価を行い、評価結果は、「研究開発成果の最大化」、「適正、効果的かつ効率的な業務運営の確保」に向けた業務運営の改善等のために適切に活用。